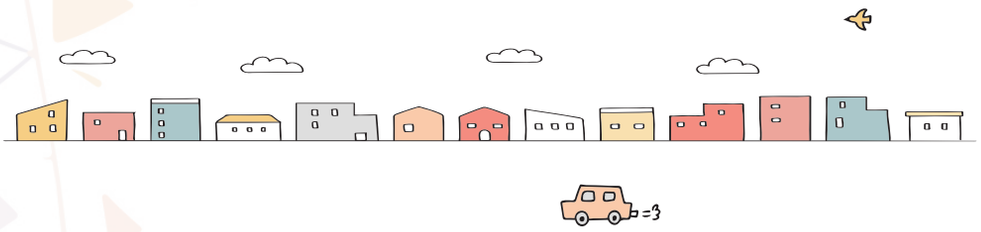
令和8年度 愛媛大学地域共創研究センターシンポジウム

守り、活かし、創造する 地域とともに歩む 博物館・文化施設の 現在地

本シンポジウムは、少子高齢化や財政難、来館者減少、専門人材不足といった課題に直面する博物館の現代的な意味や価値、地域における可能性について改めて考えることを目的としています。
近年では、博物館を資料の収集・保存・展示する場にとどめず、調査を通して地域の記憶や文化的アイデンティティを可視化することで地域ブランドの核となって、交流人口や関係人口を創出し、人と人、人と地域、そして社会課題をつなぐ「学びと協働の場」（公共的プラットフォーム）として捉える活動も増えつつあります。
本シンポジウムでは、博物館に関わる多様な実践者、研究者が登壇し、住民参加型の活動や学校・企業・NPOとの協働、持続可能なミュージアム・マネジメント等の事例から、博物館が地域の未来を支える「文化的ハブ」として果たす役割と、その可能性について考えます。



2026年 12月7日（月）

参加費 無料
どなたでも参加できます

13:00-16:00 12:30 開場

愛媛大学総合情報メディアセンター
1階メディアホール

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

【定員】

120名（先着順）

【申込方法】

地域共創研究センターHP（以下のURL）内の申込フォーム、又は二次元バーコードよりお申込みください。

https://rcrc.cri.ehime-u.ac.jp/

申込締切 2026年12月6日(日) 17:00

【問い合せ】

愛媛大学地域共創研究センター
E-mail：rcrc_cri@stu.ehime-u.ac.jp
TEL：089-927-8145（地域協働支援部地域協働課）

主催：愛媛大学地域協働推進機構地域共創研究センター
共催：愛媛大学社会共創学部、愛媛県博物館協会、愛媛大学ミュージアム

総合司会 井口 梓

開会挨拶・趣旨説明 愛媛大学地域共創研究センター
センター長 教授 井口 梓
愛媛県博物館協会
会長 水田 寿雄

基調講演

大学キャンパスと地域の自然・文化資源を活用したエコミュージアム活動
―広島大学総合博物館20年の成果と課題―



広島大学総合博物館 准教授
オオサンショウウオ保全対策
プロジェクト研究センター センター長
清水 則雄

事例報告



久万高原ミュージアム3館の連携事業と博物館ファンづくり
久万高原町まちづくり戦略課
観光文化施設係・課長補佐 矢野 真志



佐田岬半島の博物館活動
佐田岬半島ミュージアム
館長兼主任学芸員 高嶋 賢二



今治市の文化活動と地域にひらくミュージアム
今治市文化振興課
課長補佐兼文化振興担当係長 田中 謙



愛媛大学ミュージアムの取り組み
愛媛大学ミュージアム
教授 吉田 広

パネルディスカッション
コーディネーター
地域共創研究センター
副センター長 准教授 佐藤 大規

閉会挨拶
愛媛大学ミュージアム 館長 教授 西村 勝志